

プログラム	開催日	時間	会場
VOL.1 装うかたち	2019年11月 9日(土)	14:00~16:00	レンタルスタジオ ラカーサミア
	2019年11月10日(日)	14:00~16:30	
VOL.2 狂言からまなぶ演技力	2019年11月18日(月)	19:00~21:00	能-BOX
	2019年12月21日(土)	14:00~16:00	
VOL.3 ジャワ古典舞踊で巡る表現	2020年1月11日(土)	14:00~16:00	10-BOX box-1
	2020年1月12日(日)	10:00~15:00	
VOL.4 イチからまなぶ戯曲講座	2020年1月18日(土)	10:00~19:00	10-BOX box-2
	2020年1月19日(日)	10:00~19:00	

右記をご確認の上、お申し込みください

***<VOL.1,2,3,4>はそれぞれ2日間のプログラムとなります。(両日ともご参加ください。)**

*広報物・出版物・インターネット上での公開や掲載等を目的とした取材・撮影が講座中に入る場合があります。*参加費は原則ご返金できませんので、あらかじめご了承ください。
*4講座を通して受講することをおすすめしております。*受講時の服装、事前課題や持参物など詳細は、参加者決定後にご案内します。

対象者
初心者からどなたでもご参加いただけます。
*18歳未満の方は保護者の同意が必要です。

参加費
VOL.1~4通し申し込み 8,000円(学生6,000円)
各回の場合は講座ごと 3,000円(学生2,000円)

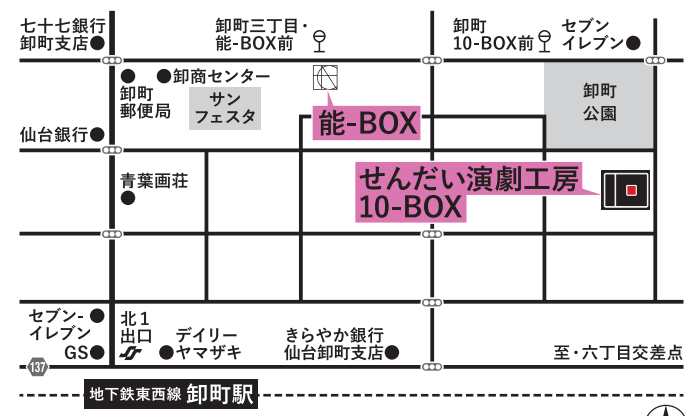
お申し込み方法
せんだい演劇工房10-BOX公式サイト(<https://www.gekito.jp>)内の申込フォーム、メール(contact@gekito.jp)、または郵送にて受付。
下記内容①~⑧を記載のうえ、お申し込みください。
①住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢 ④電話番号 ⑤メールアドレス
⑥プロフィールと活動内容 ⑦応募動機 ⑧希望プログラム名(複数選択可)

受付期間 2019年10月7日(月)~11月5日(火) [必着] 応募多数の場合は抽選し、参加の可否をお知らせします。(通し受講優先)

◎お問い合わせ
せんだい演劇工房 **10-BOX**
TEL.022-782-7510 FAX.022-235-8610
E-mail contact@gekito.jp
10-BOX公式サイト <https://www.gekito.jp>

アクセス
○地下鉄:仙台市地下鉄東西線「卸町駅」下車、「北1」出口より徒歩約10分
○市営バス:仙台駅前50番バスのりばより、花京院・国立病院・卸町会館經由小鶴新田駅「卸町10-BOX前」下車、徒歩約3分(所要時間約25分)
○車:国道4号線バイパス卸町交差点から約3分/泉インターから約40分/仙台南インターから約40分
*10-BOX敷地内駐車場には限りがございます。満車の場合は、近隣有料駐車場をご利用ください。

能-BOX
アクセス
○地下鉄:仙台市地下鉄東西線「卸町駅」下車、「北1」出口より徒歩約10分
○市営バス:仙台駅前50番バスのりばより、花京院・国立病院・卸町会館經由小鶴新田駅「卸町三丁目・能-BOX前」下車、バス停向かいの銀色の倉庫が能-BOXです。(所要時間約25分)
*能-BOX敷地内駐車場には限りがございます。満車の場合は、近隣有料駐車場をご利用ください。



[10-BOX] 〒984-0015 仙台市若林区卸町2-12-9
[能-BOX] 〒984-0015 仙台市若林区卸町2-15-6

応募用紙 | **まなぶ*からだ** 演劇と表現 2019 | **希望プログラム** [VOL. 1・2・3・4]
希望プログラムを○で囲んでください

氏名	フリガナ	年齢	歳	電話番号
	〒			メールアドレス
住所				
プロフィールと活動内容				
応募動機				

私は、本募集要項に記載の確認事項に同意し、応募します。 **自筆署名**
*お申し込みいただいた個人情報は、本事業に関する連絡やお知らせにのみ使用します。

保護者署名(18歳未満の方のみ)

WORKSHOP

2019

装うかたち

MANABU KARADA VOL.1
石田幸雄

狂言からまなぶ演技力

MANABU KARADA VOL.2
石田幸雄

戯曲講座

西史夏

まなぶからだ

演劇と表現

イチからまなぶ

戯曲講座

ワークで書く

MANABU KARADA VOL.4

ジャワ古典舞踊で巡る表現

Rianto

撮影:riccardo panozzo

MANABU KARADA VOL.3

せんだい演劇工房

10-BOX・能-BOX

VOL.1 2019 11/9(土)・10(日) | VOL.2 2019 11/18(月)・12/21(土)
VOL.3 2020 1/11(土)・12(日) | VOL.4 2020 1/18(土)・19(日)

MANABU KARADA VOL.1 装うかたち

定員12名 2日間通し

2019 11/9 [土] 14:00-16:00 10 [日] 14:00-16:30

身体の見え方感じ方の変化

この講座では、ダンスの振付を通して、「装う形」をキーワードに、ご自身の身体の見え方感じ方がどのように変化するかを体感します。1回目は「5cm」角度を変えるだけで形が美しくなる。歩く・ポーズなどを組み込んだシンプルな振り付けを踊ります。その後「5cm」の調整をして撮影し、ピフォーアフターを見ながらのトーク。2回目は過去の作品を鑑賞しながら「装う形と見え方感じ方」について話した後、4人一組のチームでキャッチーな振り付けを作ってみます。



PROFILE

MAIKO ダンサー・振付家

マイコ

ダンスチーム東京★キッズメンバーとして国内外のイベントやTV、雑誌等に出演する他、数々のアーティストバックダンサーなどをつとめ、2011年からは主に振付師として活動。きゃりーぱみゅぱみゅのほぼ全ての曲を振付する他、マキシマムザホルモンMVやおかあさんといっしょの体操「からだ☆ダンダン」の振付など、幅広いジャンルを手掛けており、プライベートでは4歳と1歳の子供を持つ二児の母でもある。



※駐車場はございませんので公共交通機関でお越しいただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。

かま 演劇と表現

らな

だぶ

WORKSHOP 2019

「ご自身のからだとその表現力の可能性を、探ってみませんか。」

「自身の表現の幅を広げたい」「未知の表現と出会いたい」

「表現のジャンルを超えた気づきを得られるでしょう。」

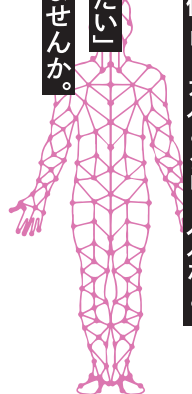
VOL.1~4の講座を通して「まなぶ」ことで、伝統と現代、ローカルとグローバルなど、興味のある講座だけをまなぶこともできますし、

表現技法や発想力、トレーニングの仕方を、「体験IIからだ」を使ってまなびます。

講座では、さまざまな身体表現の可能性を探るために、異なる分野の講師を招き、より豊かにする体験型の講座を開きます。

せんだい演劇工房10-BOXでは、幅広い演劇や身体表現にかかわる「表現力」を、より豊かにする体験型の講座を開きます。

舞台芸術における、身体表現——そのアプローチの方法は多様です。



MANABU KARADA VOL.2 狂言からまなぶ 演技力

定員10名 2日間通し

2019 11/18 [月] 19:00-21:00 12/21 [土] 14:00-16:00

身体表現に生かせるエッセンス

「素手の芸」とも呼ばれる狂言。観るひとの想像力を引き出す、シンプルで遊び心に富んだ舞台は、600年の年月を経てなお、現代の私たちに新鮮な笑いとの豊かさをもたらしてくれます。この講座では、狂言の基礎的な表現を実技を通して学びながら、現代の演技や身体表現に生かせるエッセンスを探ります。



PROFILE

石田 幸雄 和泉流狂言師

いしだゆきお

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。06年「雙ノ会」で芸術祭大賞。11年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより『国盗人』など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。

MANABU KARADA VOL.3 ジャワ古典舞踊で 巡る表現

定員10名 2日間通し

2020 1/11 [土] 14:00-16:00 12 [日] 10:00-15:00

美しく見える身体

ジャワ古典舞踊からバニユマス地方の伝統舞踊・レンゲル、そしてコンテンポラリーダンスまで、あらゆる身体技法を習得した講師によるワークショップ。しなやかで力強い肉体を駆使した独自の表現方法を通して、「美しく見える身体」のバリエーションを探ります。



PROFILE

Rianto ダンサー・振付家

リアント

中部ジャワ・バニユマス出身。インドネシア国立芸術大学(ISI)スラカルタ校舞踊科卒業。バニユマス地方の伝統舞踊レンゲル、ジャワ古典舞踊からコンテンポラリーまで幅広いレパートリーを持つ。2006年東京にて「デワンダル・ダンスカンパニー」を設立。2009年オバマ大統領就任式レセプションにて舞踊を披露。自身のソロ作品「Medium」を世界各地で発表しているほか、ガムラングループ・ランバンサリ、パバ・タラフマラ、Taikuujikanとの共演も多数。日伊文化交流にも努めている。

MANABU KARADA VOL.4 イチからまなぶ 戯曲講座

定員10名 2日間通し

2020 1/18 [土] 10:00-19:00 19 [日] 10:00-19:00

書くことのよろこび

フィールドワークとは、現地におもむき情報を収集すること。この講座では、土地の記憶を探しながら、2日間で短い戯曲を書きあげ、発表します。初日は、基礎的な講義と町歩き、執筆まで行きます。2日目は、ブラッシュアップを経て、戯曲を完成させます。最初はシナリオを学び、後に戯曲を書き始めた講師が、イチ受講生だった自身の経験をもとにわかりやすく指導します。はじめての方も、経験のある方も、書くことのよろこびを共に分かち合えたらと思います。

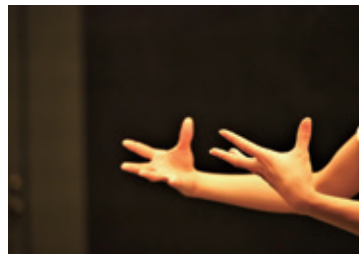


PROFILE

西 史夏 劇作家

にしふみか

劇作家、脚本家。兵庫県宝塚市出身。大阪音楽大学音楽学部卒業。シナリオセンター大阪校でシナリオを、伊丹想流私塾で戯曲を学ぶ。第6回富士山・河口湖映画祭シナリオコンクールグランプリ(2013)、第1回こうのとり短編戯曲賞最優秀賞(2014)、第2回せんだい短編戯曲賞大賞(2014)、日本の劇戯曲賞大賞(2015)、ふじのくににせいかい演劇祭2015劇評コンクール最優秀賞。



撮影:糸田久美子、栗田まりこ